

令和4年産

気仙沼・南三陸 稲作情報 第9号

令和4年9月1日発行

宮城県米づくり推進気仙沼地方本部・宮城県気仙沼農業改良普及センター

TEL 0226-25-8069 FAX 0226-22-1606

○今後断続的な降雨が見込まれます。

適宜落水を行い、収穫しやすいほ場にしましょう。

また、「適期刈り取り」による良食味・高品質米の生産に努めましょう！

- 管内における中生品種（ひとめぼれ）の刈取適期は、8月4日出穂期の場合、**9月16日頃から9月24日頃の見込みです。**
- 出穂期や籾数の違いにより登熟の進展に差が生じますので、**ほ場ごとに籾の熟色等もよく観察して刈取適期を判定し、刈り遅れによる品質低下を防ぎましょう。**

1 気象の概況

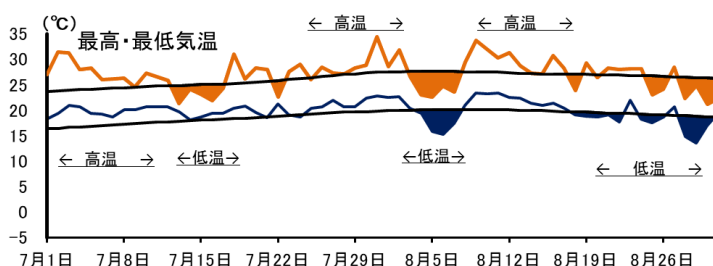
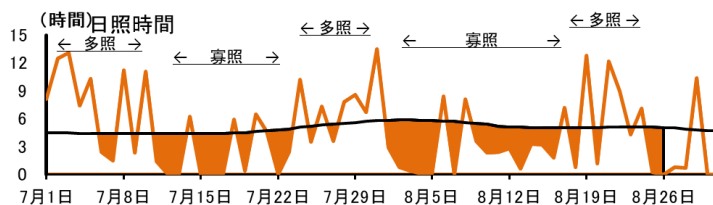


表1 気象経過（気仙沼アメダス）

	平均気温(°C)		日照時間(h)		降水量(mm)	
7月 上旬	22.6	2.4	79.9	182%	23.0	36%
7月 中旬	22.0	0.9	20.5	48%	207.0	304%
7月 下旬	23.6	1.0	68.2	117%	81.0	133%
8月 上旬	23.6	0.2	26.7	44%	17.5	48%
8月 中旬	23.8	0.9	36.1	76%	60.5	139%
8月 下旬	21.5	-0.9	44.7	82%	47.5	68%



気象概況

【7月の気象】

- 上旬：高温，多雨
- 中旬：寡照，多雨
- 下旬：多雨

【8月の気象】

- 上旬：寡照，少雨
- 中旬：多雨
- 下旬：低温，寡照，少雨

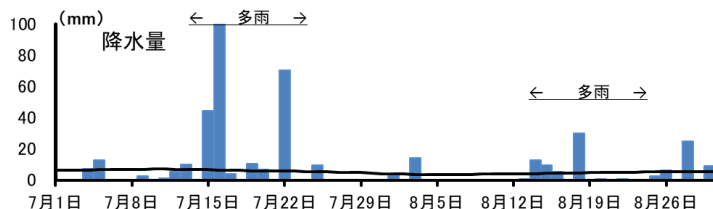


図1 気象経過図（気仙沼アメダス，7月1日～8月31日）

2 水稻生育調査ほの生育概況（出穂25日後調査）

表2 出穂25日後調査結果（本年は8月29日調査）

品 種		出穂期	稈長	穂長	穂数	止葉葉色
地区名			(cm)	(cm)	(本/m ²)	(GM)
ひとめぼれ	本 年	8/4	74.9	18.0	463.7	27.5
	前年比・差	+6	108%	105%	104%	-2.4
	平年比・差	±0	98%	103%	95%	-1.9
ひとめぼれ	本 年	8/3	80.5	17.8	439.9	28.5
	前年比・差	+4	101%	102%	109%	-2.5
	平年比・差	±0	105%	103%	105%	-0.5

注）平年値は平成29年から令和3年までの5か年の平均値（志津川は平成30年からの4か年平均）。

3 刈取適期の判定

(1) 出穂日からみた刈取適期の目安

- 出穂後の積算平均気温から予測される刈取適期の目安は「ひとめぼれ」では940℃～1,100℃です。
- 積算平均気温が1,100℃を超過（刈遅れ）した場合、食味・品質が確実に低下します。刈取適期内に刈り取りましょう。
- m²当たり粒数が少ないと刈取適期は早まりますが、粒数が多くなっても刈取晩限はあまり遅くならないので注意しましょう。
- 倒伏したほ場では、穂発芽による品質低下が起きやすいので、刈取早限になったら直ちに収穫しましょう。

表3 出穂後の積算気温からみた刈取り適期の目安（9月1日現在）

アメダス	基準温度	出穂日							
		7/31	8/2	8/4	8/6	8/8	8/10	8/12	8/14
志津川	940℃	9/10	9/13	9/15	9/17	9/19	9/22	9/25	9/28
	1,000℃	9/13	9/16	9/18	9/20	9/23	9/26	9/29	10/2
	1,100℃	9/18	9/21	9/23	9/25	9/28	10/2	10/5	10/8
気仙沼	940℃	9/11	9/14	9/16	9/18	9/20	9/23	9/26	9/29
	1,000℃	9/14	9/17	9/19	9/21	9/24	9/27	9/30	10/3
	1,100℃	9/19	9/22	9/24	9/27	9/29	10/3	10/6	10/9

注1) 気温の概算値は8月31日までは実測値、9月1日以降はアメダス平年値を使用した。

注2) 出穂期後の積算平均気温到達推定日は、出穂期翌日からの積算気温が940℃（「ひとめぼれ」の刈取早限、1,000（同刈取適期）、1,100℃（同刈取晩限）を超えた日とした。

注3) 仙台管区气象台による東北地方の1か月予報（8/25発表）では、気温は平年並か高い見込み。

(2) 籾熟色によるコンバイン収穫期の予測判定

- ひとめぼれでは、平均的穂数株（枝梗数8）の中位二次枝梗籾の籾色を観察することにより成熟段階を判定でき、刈取適期を予測できます。

成熟段階Ⅰ：第1位籾が急速に黄化開始（籾黄化判定開始）

成熟段階Ⅱ：第1位籾がほぼ黄化（90%）（7日以内で刈取り早限）

成熟段階Ⅲ：第1位籾が殆ど黄化し（95%）、第2、3位籾が黄化開始（刈取り早限）

成熟段階Ⅳ：第1位籾の黄化100%、第2、3位籾が30%黄化（積算気温1000℃程度）

成熟段階Ⅴ：第2、3位籾が50%以上黄化（刈取り晩限）

刈取適期

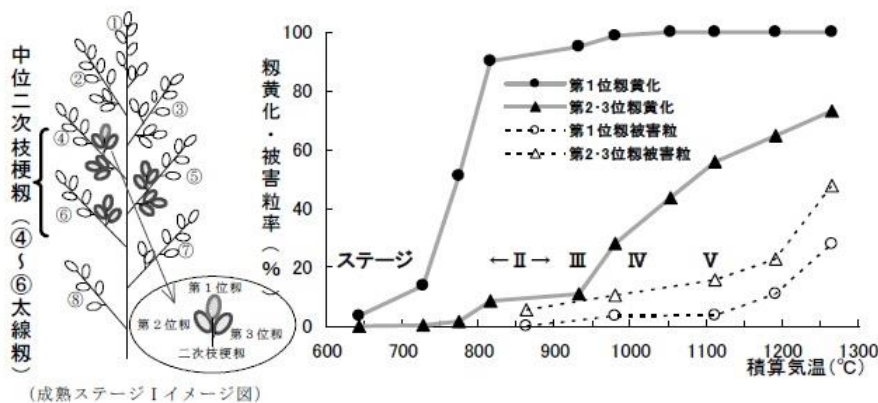


図2 積算温度と穂の中位二次枝梗籾黄化率の推移

(3) 直は栽培の収穫

- ・ 移植栽培より生育が遅れることを除き、基本的には移植栽培と管理方法は共通です。
→ 出穂時期を目安に、適期に刈り取りましょう（表3参照）。

表4 出穂25日後調査結果（本年は8月29日調査）

品 種 地区名		出穂期	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	止葉葉色 (GM)
ひとめぼれ	本 年	8/12	81.9	17.2	355.1	27.4
気仙沼市	前年比・差	+4	111%	100%	76%	+1.8
(本吉町)	平年比・差	-5	111%	100%	83%	+2.4

注) 平年値は平成29年から令和3年までの5か年の平均値。

4 良食味・高品質米に仕上げる収穫・乾燥調製

(1) 収穫作業

- ・ コンバイン収穫では、籾水分が高いと損傷が多くなるので、籾水分は25%以下を目標に刈り取りましょう。
- ・ 複数の品種の刈取りを行う場合には、品種が替わる際に十分な清掃を行い、機械内における異品種の混入を未然に防ぐよう注意しましょう。
- ・ 倒伏している場合は、他の稲とは別に「刈分け」を実施し、収穫物に石など異物が混入しないよう注意しましょう。

(2) 乾燥・調製作業

- ・ 収穫した生籾を放置すると発熱して変質米の原因になるので、刈り取り後速やかに乾燥機に張り込み送風しましょう。
- ・ 倒伏した稲や未熟粒の多い稲などを機械乾燥する場合は、二段乾燥を行い、水分ムラや胴割米の発生を抑えましょう。
二段乾燥・・・籾水分が18%程度になったら火力乾燥を一時中断し、一定時間通風循環後仕上げ乾燥を行う
- ・ 正確な水分測定のためには、玄米の測定サンプルから未熟粒を取り除いて測定しましょう。
また、こまめに水分測定をすることで過乾燥を防止しましょう。
仕上がり玄米水分は14.5%~15.0%が目標です。
- ・ 籾すりは肌ずれ防止のため、籾の温度を室温まで下げてから行いましょう。また、ロール式籾すり機の場合は、籾（品種）に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。
- ・ 異品種の混入を未然に防ぐため、品種が替わるごとに機械類の清掃を徹底しましょう。

○だて正夢の栽培管理

表5 出穂25日後調査結果

品 種 地区名		出穂期	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	止葉葉色 (GM)
だて正夢	本 年	8/3	80.0	19.8	384.3	32.6
気仙沼市	前年比・差	-1	113%	111%	102%	+2.0
(本吉町)	平年比・差	-3	103%	103%	118%	+0.4

注) 平年値は平成29年から令和3年までの5か年平均。

- 「だて正夢」の成熟期は移植時期によって変動しますが、5月中旬移植では「ひとめぼれ」より3～6日程度遅く、出穂期から成熟期までの積算平均気温は1,020～1,060℃※です(図3)。出穂後50日前後を目安に、籾の熟色等を確認して適期に収穫します。

※気仙沼市の生育調査ほでは、9月19～21日頃です。

(出穂翌日(8/4)からの気仙沼アメダスデータ積算値による。9月1日以降は平年値を使用した。)

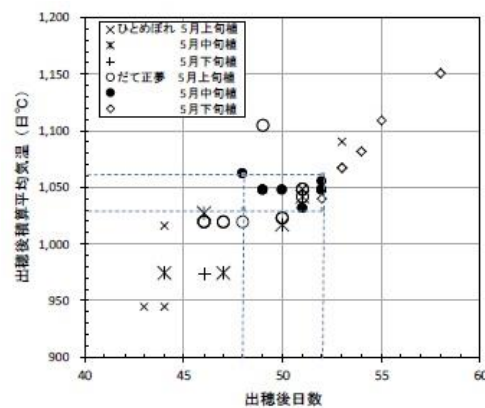


図3 「だて正夢」の移植時期別の成熟期と出穂後積算平均気温との関係

注) 平成28～30年栽培試験結果。ただし、5月下旬値は平成30年のみ

- 「だて正夢」の玄米千粒重が小さいのは玄米の幅が狭いためであり、粒厚の分布は「ひとめぼれ」と同程度です(図4)。充実した玄米を確保するために、1.9mmの篩目(LLサイズ)で調整します。

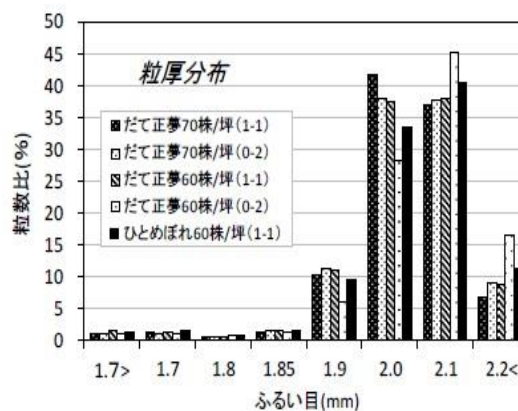


図4 「だて正夢」玄米の粒厚分布

注) 平成29年5月16日移植の試験, 凡例括弧内は幼穂形成期-減数分裂期の追肥窒素量(kgN/10a)を示す。

○金のいぶきの栽培管理

表6 出穂25日後調査結果

品 種 地区名		出穂期	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	止葉葉色 (GM)
金のいぶき	本 年	8/4	80.2	20.5	514.1	30.9
気仙沼市	前年比・差	-1	113%	123%	125%	+0.4
(本吉町)	平年比・差	-	-	-	-	-

注) 金のいぶきは令和3年度から調査開始のため、前年のみ

- ・「金のいぶき」の成熟期までの積算平均気温は 1,050~1,150℃※です (図5)。出穂後 50~55 日頃を目安に、籾の熟色等を確認して収穫しましょう。
- ・穂発芽しやすい(穂発芽性が“中”)品種であることから、成熟期に達したら発芽粒の発生に注意し、早めに刈り取りましょう。また、「金のいぶき」は、胚芽の欠損が商品価値を低下させることから、乾燥・調製に当たっては、特に注意が必要です。
- ・刈遅れは白死米や茶米、その他未熟粒の割合が高まるため、適期収穫を行いましょ。 ※気仙沼市の生育調査ほでは、9月22~27日頃です。
(出穂翌日(8/5)からの気仙沼アメダスデータ積算値による。9月1日以降は平年値を使用した。)

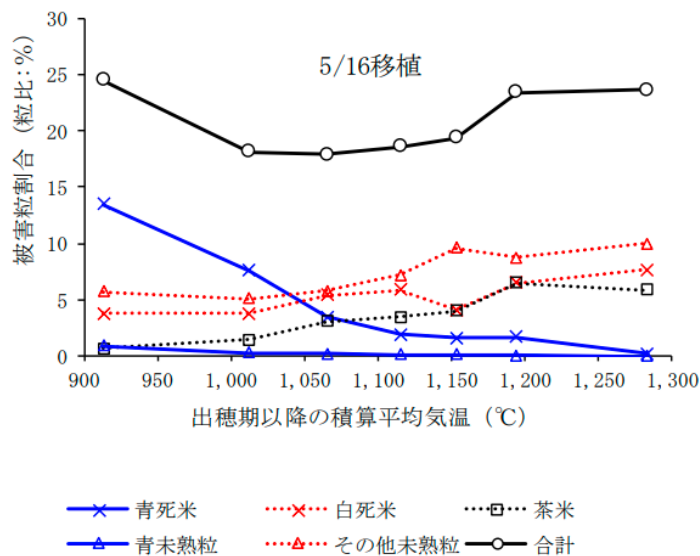


図5 「金のいぶき」の出穂期以降の積算平均気温と被害粒割合の推移(平成29年)
(宮城県「普及に移す技術」第95号(2019年))

○農作業安全について

収穫時、コンバインの事故が毎年発生しています！

- ・後進時に轢かれる
 - ・エンジンを切らずコンバイン内部の清掃をして、手や指を切断する など
- 「重大な農業事故は経営存続にかかわる重要なリスクです。」
- ・コンバインの後ろには立たない、後進時は後方確認を徹底する。
 - ・内部の清掃は必ずエンジンを切ってから行う。
- など、事故を防ぐための対策を徹底しましょう！！